8 月の Global　Session のお知らせ（2023 年）
期日：2023 年 8 月 20 日(日)10：30～12：00
場所：ガレリア 3 階　会議室
ゲスト：村田英克さん(JT 生命誌研究館：表現を通して生きものを考えるセクター・
高槻市立富田小学校 PTA 会長・150周年実行委員長）
コーディネーター：募集中
タイトル：「一人ひとりの"もちあじ"と生きものごとの"もちあじ"」
参加者：10名くらいまで
申し込み受付：児嶋きよみ　e-mail：kiyomi-kojima@gaia.eonet.ne.jp

＜村田英克さんから＞

前回（昨年）は、私のつくった**生命誌研究館の記録映画「食草園が誘う昆虫と植物のかけひきの妙」**をご覧いただき、私たちと生活圏を共にする身近なチョウや植物から「私たち人間を含む、多様な生きものの関わり、つながり」を話し合いました。私は、研究館では、生命科学の知見に基づき、３８億年という長い時間が育んだ生命現象の豊かさ、その関わりの中での、生きものとしての人間を考えるための展示や映像、季刊誌などの表現に携わっていますが、その立場にあって、いつも、自分自身の「生活者」としてのありようが、問われているように思っています。

今回は、まず私がつくった**記録映画「とんだの"もちあじ"」**（32 分）をご覧ください。私が PTA 会長をつとめる小学校の創立 150 周年記念の作品です。以下、記念冊子に記した作品紹介です。

**********　**********　**********
****

「富田小の子どもたちはうらやましいなあ。」それが、わが子を通じて、常々思っていた実感。そんな学校を自分ももっと知りたい、との思いから、うっかり引き受けた PTA 役員。しかし、PTA 活動を通して、知れば知るほど、やっぱり富田小は素敵。背景にあるのは、富田の町に今も息づく歴史と文化。その豊かな資産を、子どもたちが成長する日々につなぐ努力をおしまない先生方、暖かい地域の方々。そして、このような肥沃な土壌を、これまでに培ってこられた歴代先生方、卒業生、地域の皆さまのご努力と連携があってこそ、の今を、とてもとても羨ましく思います。今ここにある人と人とのつながりを、これからも大切にしていきたい。創立１５０周年ほんとうにおめでとうございます。これからの発展を心より祈念いたします。

**********　**********　**********　**********

とんだの“もちあじ”
富田小学校創立150周年記念映画

富田小学校の児童の考案です。